

メンテナンス 再塗装工程について

<再塗装方法 A> 軽度の劣化の場合

1. 塗料用シンナーなどで、汚れ、付着物、油分などをしっかり取り除く。
2. 必要に応じて水洗い、汚れをしっかりと取り除く(水洗いした場合しっかり乾燥させる)。
3. 木目にそって塗膜表面を軽めにサンディング(#120~180)
4. サンダー屑、ゴミ、ホコリをしっかりと取り除いて木材表面をきれいにする。
5. 塗装(1~2回工程)

<再塗装方法 B> 中程度の劣化の場合

1. 塗料用シンナーなどで、汚れ、付着物、油分などをしっかり取り除く。
2. 必要に応じて水洗い、汚れをしっかりと取り除く(水洗いした場合しっかり乾燥させる)。
3. 塗膜表面をサンディング(#80~180)、劣化している旧塗膜をしっかりと取り除く。
4. サンダー屑、ゴミ、ホコリを取り除いて木材表面をきれいにする。
5. 塗装(2~3回工程)

※塗装は各メーカーの仕様に基づいて実施してください。

※水洗いの際に高圧洗浄を行う場合は水圧を落として木材が損傷しないように注意してください。

※研磨はサンダーのほかエアークナヤブラスト系(サンドブラスト等)を使用できますが圧にご注意下さい。

※割れ・欠損部分はパテで補修してください。割れが小さい場合は塗料をよく入れ込んでください。

※塗装脱落部分には先にタッチアップ下塗りをを行い、その後全体を塗装すると綺麗に仕上がります。

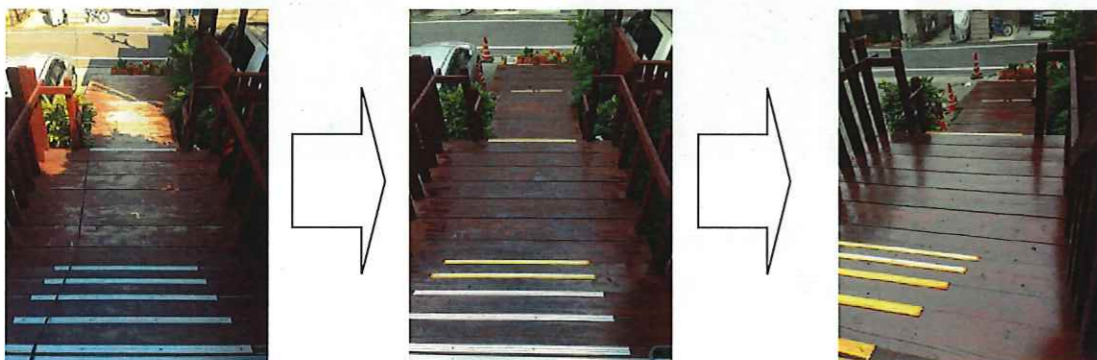
※半透明系の塗料の場合は、再塗装する色は既存塗装と同等の色、または多少濃い目の色が推奨されます。

※既存塗膜をすべて除去して塗装する場合は、新規と同様に2~3回塗りを推奨してください。

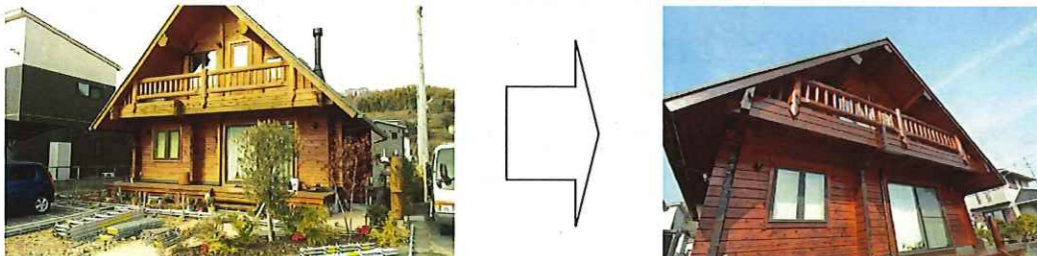
※施工上の注意事項等は別途仕様書やSDS(安全データシート)を参照してください。

※必要に応じて剥離剤等の薬剤を使用する場合は、木材表面に薬剤成分が残らないように水で洗い流す。

例① ウッドデッキ再塗装 タッチアップ下塗り:セトール HLSe 上塗り:セトールデッキプラス



例② ログハウス再塗装 下塗り:セトール Filter7 プラス 上塗り:セトール Filter7 プラス



シッケンズ木材保護塗料

中大規模建築物における屋外木部メンテナンス

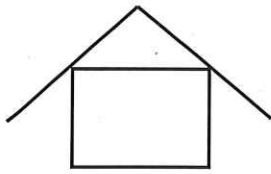
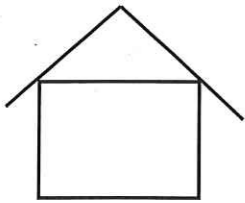
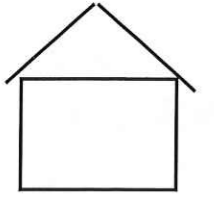
トーヨーマテリア株式会社 シッケンズ課
 〒107-8320 東京都港区赤坂 7-6-38
 TEL:03-5563-8267
 FAX:03-5563-8270
www.sikkens-japan.com

<塗装維持管理の重要性>

塗装は経年によりその保護機能および美観が損なわれるため、再塗装を行う必要があります。特に木材は経年で変形、反りや割れが発生するため、初期耐久性の高さも重要ですが、新築時の建物全体の耐久計画に再塗装時期も盛り込むことが望ましいです。

塗装の傷み具合は、建物の構造、立地条件、方角、樹種等により多様ですが、標準的な最初の再塗装時期は塗装後3~5年が最良とされています。劣化状況が軽度の時期(早期)の再塗装は素材の劣化を最小限にとどめ、塗り替え作業も簡易になり経費も少なくなる利点があります。その後の再塗装は5年毎程度が概ねの目安となります。定期的にメンテナンスを行うことで建物をいつまでも美しく保ちます。大型建築物においても、管理費の積み立てや予算組みなど定期的にメンテナンスを行うことを組み込んだ計画を推奨します。

塗装寿命目安シート <外壁の場合>

屋根の大きさ	高さ	立地環境	環境評価
大きい 	地上階と1階~3階	山間部 海岸	B
		住宅地	A
	3階以上	山間部 海岸	B
		住宅地	A
中程度 	地上階と1階~3階	山間部 海岸	C
		住宅地	B
	3階以上	山間部 海岸	D
		住宅地	C
短い 	地上階と1階~3階	山間部 海岸	D
		住宅地	C
	3階以上	山間部 海岸	D
		住宅地	C



A: わずかに紫外線・風雨にさらされる
 B: 中程度紫外線・風雨にさらされる
 C: 強く紫外線・風雨にさらされる
 D: 完全に紫外線・風雨にさらされる
 ※方角によっても異なります
 (南・西面は劣化の進行が速い)
 ※クリアー色の耐候性は低下します。

推奨メンテナンス塗装時期

- Aの場合 → 5~6年
- Bの場合 → 4~5年
- Cの場合 → 3~4年
- Dの場合 → 2~3年

<塗装長期保持のポイント(参考)>

1)木口面の処理



2)水対策



<劣化状況指標>

軽度の傷み — 色褪せ程度で塗膜はまだしっかりした状態



中程度の傷み — 表面塗膜の劣化脱落が進行し、木材表面が露出してきている状態



カビ(黒ずみ)・ヤニについて



カビや黒ずみは研磨して落とすか、洗浄剤を使用してきれいにする。
 ヤニは固まっていればヘラで削り落とす(固まってない場合は、固まるまで待つかシンナー等で拭き落とす)。

剥離剤メーカー(参考)：株式会社ミヤキ 福岡県福岡市中央区大手門1-2-23
[TEL:092-713-0001](tel:092-713-0001)

表面塗膜の剥離 ⇒ ケストル
 浸透した顔料成分等の除去 ⇒ ステントル
 アク洗い・漂白 ⇒ レブライト/ノーベル
 藻やコケの対策 ⇒ コケシラズ